

わらべ保育室だより

令和4年度 夏号

発行：庄原市病児病後児施設 わらべ保育室
庄原市西本町2丁目12-9
0824-74-6770
(一社)里山こども未来会議
庄原市西本町2丁目8-11
0824-74-6636
庄原市 児童福祉課 あんしん支援係
0824-73-0051

朝晩と日中の気温差が大きく、体調を崩しやすい時季です。4～6月のわらべ保育室は、感冒、ウイルス性胃腸炎、アデノウイルスなどのお子さんの利用がありました。

夏の到来を迎え、用心したい病気が「子どもの三大夏かぜ」です。病気についての予備知識は、病気の予防につながります。病気の特徴や注意点を確認して感染予防に努め、この夏を元気に過ごしましょう！



子どもの夏の感染症

咽頭結膜熱 (プール熱)

病原体 アデノウイルス
潜伏期間 2～14日
登校(園)基準 主要症状が消失したのち2日経過後

39～40℃の高熱やのどの痛み、目の充血、頭痛、食欲不振などの症状を引き起こす。これらの症状は、3～7日間続く。プールの水を介して流行することが多いため「プール熱」とも呼ばれることがあるが、飛沫感染、接触感染によって感染することが多い。

ヘルパンギーナ

病原体 コクサッキーウイルスA群など
潜伏期間 3～6日
登校(園)基準 登校(園)停止の指定疾患ではない。全身状態が安定している場合は可能

乳幼児がかかりやすい夏かぜの代表的なもの。突然の高熱(39℃以上)が出て、のどの奥が赤くなり、のどや口の中に赤い発疹や潰瘍ができ、痛みもひどくなる。感染経路は経口感染、飛沫感染、接触感染である。

手足口病

病原体 コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルスなど
潜伏期間 3～6日
登校(園)基準 登校(園)停止の指定疾患ではない。全身状態が安定していて、普通の食事がとれる場合は可能

発熱と口の中やのどに痛みを伴う水疱ができ、唾液が増え、手・足の末端やお尻に水疱ができる。発熱はあまり高くないことが多く、通常1～3日で下がる。感染経路は経口感染、飛沫感染、接触感染である。

〈日本小児科学会発行資料参照〉

予防対策



かかってしまったら…

ホームケアのポイント

かからないために…

感染予防対策

*水分補給、栄養補給を行い、安静にして回復を待ちましょう。

体力の回復に必要なタンパク質が不足しないように、白身魚や卵、豆腐などの柔らかくて食べやすいものをとるといいですよ。

*のどが痛くて食べられない場合は、ヨーグルトやプリン、アイスクリームなど、のどごしの良い少し冷たいものがおすすめです。

*夏かぜのウイルスに効くワクチンや特効薬はなく、ウイルスが原因のため、抗生物質も効果がありません。夏かぜを予防するためには、免疫力を低下させないことが重要です。栄養と睡眠をきちんととって、免疫力を高めましょう。

*基本の予防は、手洗いとうがいです。流行っている場所に近づかない、吐いた物や下痢の処理をする場合にはマスクと手袋をする、かかった人とタオルを共有しない、などに注意しましょう。

わらべ保育室では、

病気や病気の回復期のお子さんを保護者の方が看護できない場合、保育士が保育看護し、回復に向かうお手伝いをします。保育看護中には、庄原こどもクリニックの医師と看護師の回診もあり、医療的な助言を受け、連携して安心できる保育看護に努めています。



わらべ保育室の職員学習会では、庄原こどもクリニックの橋本看護師長を講師に、エプロンや手袋の着脱の実技を交え、感染予防のための基本を改めて学びました。

わらべ保育室の職員
石原と明賀です
よろしくお願いします



● わらべ保育室 ●

お問い合わせ・事前登録はこちらから

→ tel 0824-74-6770

受付時間：月～金曜日 8:00～18:00

(祝祭日・年末年始12月29日～1月3日を除く)

里山こども未来会議ホームページ ▶

ここから庄原市のホームページにリンクして「登録申請書」「利用申請書」をダウンロードできます



里山こども未来会議ホームページでは わらべ保育室の利用手順や保育看護の様子などもご覧になれます